

展示場入場者アンケート調査報告(2015年)

長谷川 能三*

概要

昨年に引き続き、2015年2月～3月に展示場入場者を対象として展示場の満足度等についてのアンケートを行なったので、その結果を報告する。

1. アンケート実施概要

今回実施したアンケートの概要は、以下のとおりである。

実施期間：2015年2月14日(土)～3月22日(日)

実施日数：のべ32日間

土・日曜日・祝日・・・12日間

平日・・・・・・・・・・20日間

内 容：図11のとおり

場 所：1階ミュージアムショップ横

回収枚数：土・日曜日・祝日・・・156枚

平日・・・・・・・・・・139枚

昨年アンケートを実施したのは、2014年2月1日(土)～3月2日(日)であり、2週間程度実施時期が異なる。また、1月20日(火)～3月1日(日)に企画展「江戸時代の天文学」を、2月5日(木)～2月22日(日)には企画展「はやぶさ帰還とイトカワの石」を実施しており、土・日曜日・祝日が12日間中6日間(4日間)、平日が20日間中8日間(4日間)、アンケート実施日と企画展が重なっている(括弧内は企画展「はやぶさ帰還とイトカワの石」も重なっていた日数)。さらに、3月21日(土)には「科学実験大会」、3月22日(日)は「電気記念日協賛スペシャルイベント」(3月22日は展示場入場料無料)を行なった。

このため、アンケートの回答の中には、これらの企画展やイベントを目的に科学館に来館、展示場に入場された方も含まれており、そのことにより昨年のアンケートとは傾向が異なる部分も現われているようである。

2. アンケート結果

アンケート結果については、土・日曜日・祝日と平日では、傾向がかなり異なるので、別々に集計した。

2-1. 土・日曜日・祝日のアンケート結果

2-1-1. 年齢構成

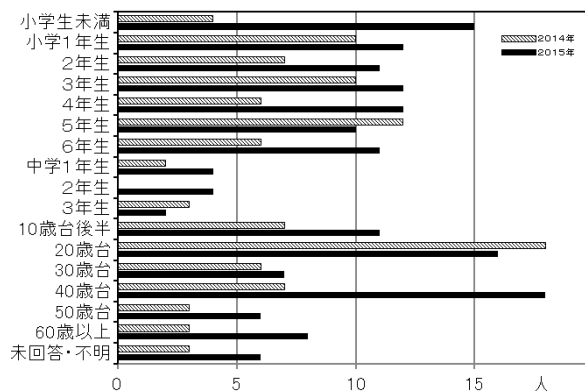


図1. 年齢構成(土・日曜日・祝日)

※1枚のアンケート用紙で複数回答も含む

昨年と比べ、アンケート実施期間が少し長く、アンケート回収枚数も多いため、昨年より増えている年代層が多い。中でも小学生未満と40歳台が非常に多くなっている。小学生未満については、家族連れで来た子どもが多く、その親世代は30歳台前後と思われる。この30歳台・40歳台が多くなっているのは、企画展等の効果もあると思われる。

2-1-2. 科学館へ来た目的・ご覧になったもの

このアンケートは展示場をご覧になった方に対しての調査のため、1階ミュージアムショップ横で行なった。プラネタリウムの動線から外れており、プラネタリウムのみをご覧になった方は実際にはもっと多いと思われる。

*大阪市立科学館 学芸員
E-mail: hasegawa@sci-museum.jp

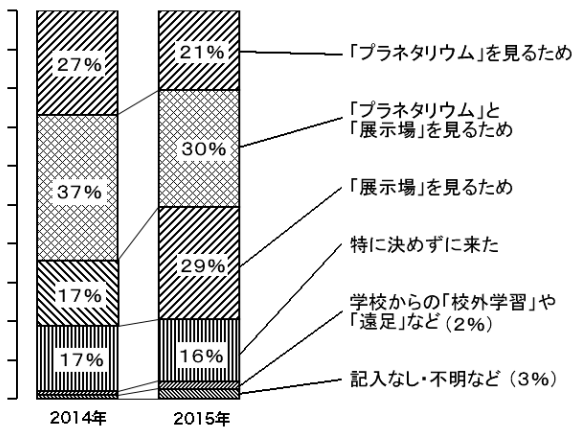


図2. 科学館へ来た目的(土・日曜日・祝日)

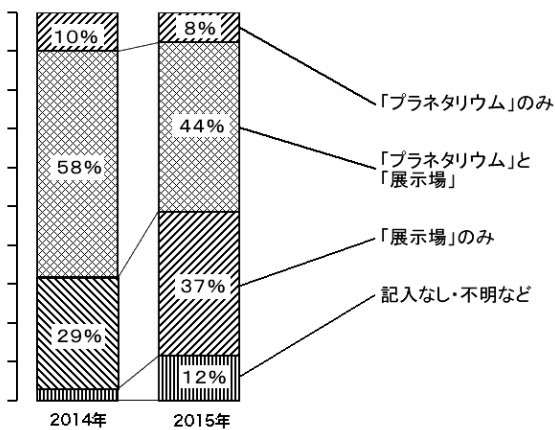


図3. 実際にご覧になったもの(土・日曜日・祝日)

科学館へ来た目的で、昨年と比較して「展示場を見るため」が増えており、「プラネタリウムと展示場を見るため」と「展示場を見るため」を合わせると半分以上になっている。これは、企画展やイベントを目的に来られた方が多いからだと思われる。

実際にご覧になったものでも、プラネタリウムの割合が減っているのも、企画展やイベントを見るために来館された方が多いためだと思われる。

また、実際にご覧になったもので「記入なし・不明など」が増えているのは、アンケート用紙の書式を少し変更したためだと思われる。昨年のアンケートでは、プラネタリウムのみご覧になった方でも展示場についての問いに回答されている場合が多く見られた。これは過去に展示場をご覧になった時の感想なのかもしれないが、展示場ではなくプラネタリウムについての感想と思われるものが多かった。

そこで今回は図11のように書式を変更したのであるが、これにより実際にご覧になったものを記入せずに次の回答へ進んだ方が多いようである。この問い以下の回答内容を見てみると、記入無しのもも全て展示場をご覧になった上で記入されていると思われるので、以下の展示場をご覧になった方への問いの集計に加えた。

2-1-3. 展示場に関する満足度

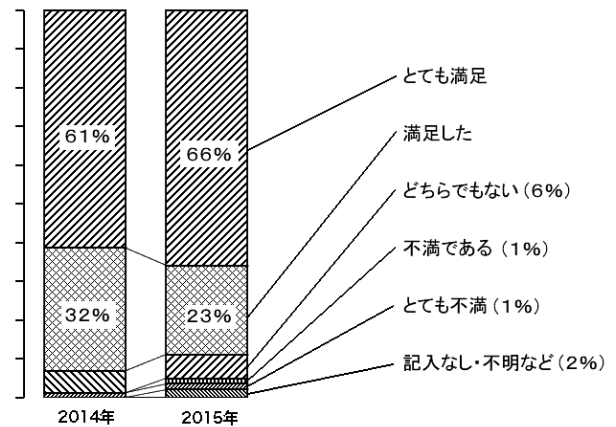


図4. 展示場の満足度(土・日曜日・祝日)

実際に展示場をご覧になった(図3の記入なしを含む)144名の方について展示場の満足度は、「とても満足」「満足した」を合わせて9割近い。昨年と比べ、「とても満足」が増えている一方、「不満である」「とても不満」も増えている。これについては、企画展についての高評価が見られる一方、企画展が期待していた内容ではなかったという書き込みも見られる。ただ、アンケートの集計枚数が100枚前後であるため、ばらつきの範囲でもある。

2-1-4. 次回来館時について

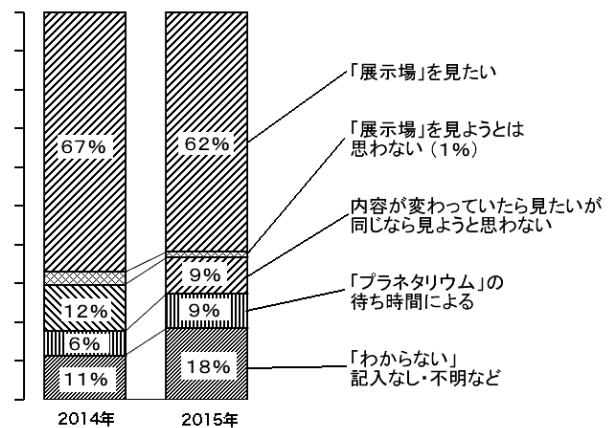


図5. 次回来館時について(土・日曜日・祝日)

展示場をご覧になった144名の方について、次回来館時にも「展示場を見たい」が約6割を超えている。昨年と比較して「わからない」や記入無しが多くなっているが、これを除くと「展示場を見たい」「展示場を見ようと思わない」「内容が変わっていたら見たいが、同じなら見ない」「プラネタリウムの待ち時間による」の割合は、あまり大きくは変わっていない。「わからない」が増えている理由については不明であるが、企画展を見るために遠方から来館され、次回の来館の予定がないという方も含まれるかもしれない。

2-1-5. 印象に残った展示

印象に残った展示は選択式ではないため、名称が書かれていないもの、コーナー等を書いてあるものなどさまざまであった。ただ、書いてある内容からどの展示かはほぼ特定でき、分類すると以下のとおりとなった。

表1. 印象に残った展示(土・日曜日・祝日)

個別の展示		
4階	惑星大きさをくらべ	4件
	銀河系をくぐるう	1件
	カくらべ	3件
	滑車	1件
	スピードスピン	1件
	色の三原色	1件
	光の三原色	2件
	かみなりのあかちゃん	1件
3階	不思議な結晶	1件
	宝石いろいろ・人工宝石	1件
	水晶	1件
	身近な結晶	1件
	金貨(金属とその利用)	1件
	宇宙服(スーパーセンイ)	2件
	生薬ウォール	1件
	とんで、はねて、ゴール!	2件
2階	かがみの道	1件
	なんにんみえる?(30度)	3件
	とうめいピアノ	1件
	カプラひろば	6件
	1階	チャレンジステーション (内、ジョギング発電が2件、サイクリング発電が1件)
原子力発電		1件
霧箱		1件
コンセントからの旅		8件
信号機(街中の電気)		5件
家庭の電力消費とエネルギー		1件
偏光ステンドグラス		4件
キューブくん		3件
展示コーナー		
4階	18~19世紀の科学(磁石の展示)	2件
2階	鏡	2件
展示フロア		
4階	宇宙とその発見	1件
	宇宙	1件
3階	身近に化学	1件
2階	おやこで科学	6件

1階	電気とエネルギー	5件
	2~4階の展示	1件
企画展		
4階	江戸時代の天文学	1件
	はやぶさ帰還とイトカワの石	8件
その他		
	体験できる展示	2件
	全部	15件
	サイエンスガイド	1件
	サイエンスショー	3件
	プラネタリウム	5件

2-2. 平日のアンケート結果

2-2-1. 年齢構成

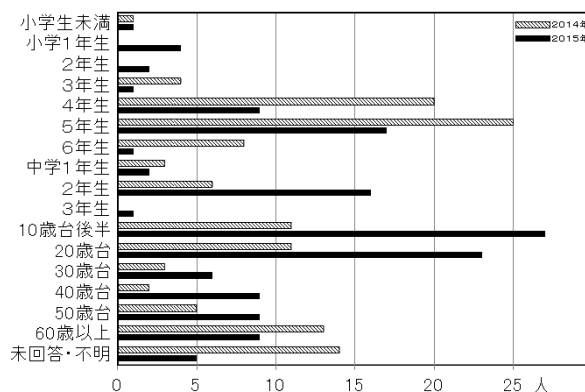


図6. 年齢構成(平日)

※1枚のアンケート用紙で複数回答も含む

昨年と比較して、小学3~6年生が減っているのは、アンケート実施期間が2週間程度ずれているため、小学校団体が少なかったためと思われる。また、10歳台後半や20歳台と比べて、30~40歳台が少ないのは、家族連れで来てアンケートは子どもに書いてもらっている場合が多いと思われる。

2-2-2. 科学館へ来た目的・ご覧になったもの

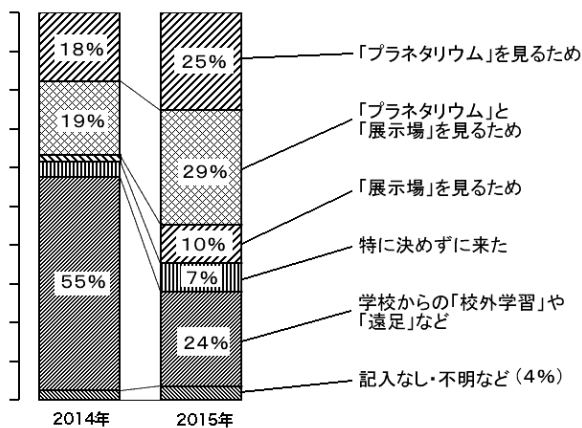


図7. 科学館へ来た目的(平日)

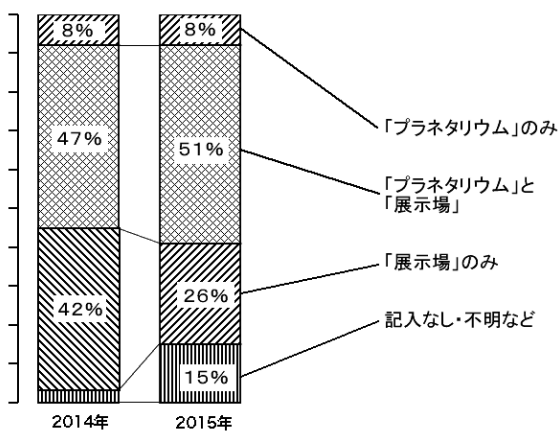


図8. 実際にご覧になったもの(平日)

昨年と比べて、平日の小学生の割合が減っている時期になったのを反映して、科学館に来た目的では「学校からの校外学習や遠足」が減っている。これ以外の比率では、「展示場を見るため」が増えており、平日についても企画展を目的に来館された方の分、増えているのではないかとと思われる。

またアンケート実施場所の関係で、土・日曜日・祝日と同様、プラネタリウムのみをご覧になった方は、実際にはもっと多いと思われる。

実際にご覧になったものでは、土・日曜日・祝日と同様、「記入なし・不明など」が増えているのは、アンケート用紙の書式を少し変更したためだと思われる。平日についても、この問い以下の回答内容を見てみると、記入無しのもも全て展示場をご覧になった上で記入されていると思われるので、以下の展示場をご覧になった方への問いの集計に加えた。

2-2-3. 展示場に関する満足度

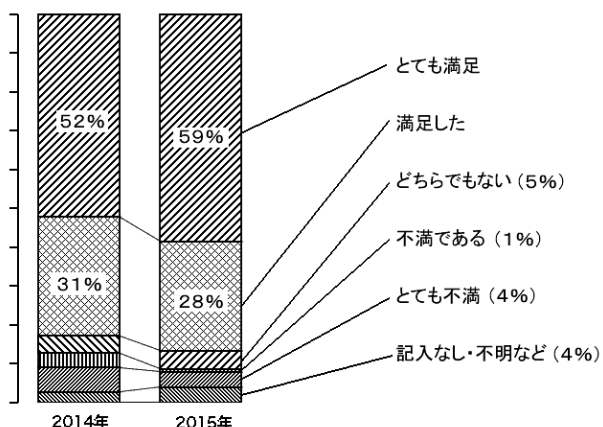


図9. 展示場の満足度(平日)

実際に展示場をご覧になった(図3の記入なしを含む)128名について、展示場の満足度は、「とても満足」と「満足した」を合わせて87%と高い数字になっており、展示場の満足度は高い状況を維持している。

2-2-4. 次回来館時について

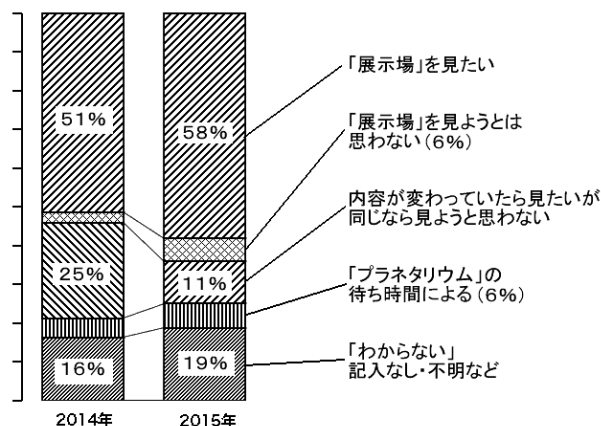


図10. 次回来館時について(平日)

展示場に対する満足度が高くなっているのを反映して、次回来館時にも「展示場を見たい」が、58%とかなり高くなっている。一方、「展示場を見よう」と思わないは増えているものの、「展示場を見ようとは思わない」と「内容が変わっていたら見たいが同じなら見ようと思わない」が、合わせて28%から17%に減っている。

2-2-5. 印象に残った展示

印象に残った展示について、土・日曜日・祝日と同様に展示を特定し分類すると以下のとおりとなった。

表2. 印象に残った展示(平日)

個別の展示		
4階	惑星大きさをくらべ	2件
	いろいろな元素	4件
	原始人とアインシュタイン	2件
	振り子	3件
	真空落下	1件
	人間電池	2件
3階	天然プラスチック	1件
	生薬ウォール	1件
2階	こえがひびくかな	1件
	カプラひろば	1件
1階	チャレンジステーション (内、サイクリング発電が5件、 ジョギング発電が5件)	16件
	風力発電	1件
	水力発電	1件
	核分裂連鎖反応シミュレーション	2件
	コンセントからの旅	5件
	信号機(街中の電気)	3件
	偏光ステンドグラス	2件
	学天則	1件

展示コーナー		
2階	ボールの運動	1件
	鏡	8件
展示フロア		
4階	宇宙とその発見	2件
3階	身近に化学	1件
2階	おやこで科学	5件
1階	電気とエネルギー	3件
	3階以外	1件
企画展		
4階	江戸時代の天文学	4件
	はやぶさ帰還とイトカワの石	1件
その他		
	体験できる展示	5件
	全部	2件
	サイエンスガイド	1件
	プラネタリウム	4件

3. 考察

昨年と同じ内容のアンケートではあったが、実施期間中に2つの企画展が実施されていたことや、実施時期が少し違うこともあり、傾向の異なる部分も出てきている。しかし、展示場に対する満足度は、おおむね昨年と同様、高い水準にある。

また、印象に残った展示では、件数の多いものをゴシック体にしてはいるが、「惑星大きさをくらべ」「いろいろな元素」「鏡」「カプラひろば」「チャレンジステーション」「コンセントからの旅」「信号機(街中の電気)」「偏光スタンドグラス」などが特に印象に残る展示となっている。また、昨年のアンケート実施期間にはなかった新たな展示「色の三原色」や「光の三原色」も印象に残った展示としてあげられている。

今回、アンケート実施期間中に企画展が行なわれていたが、これらも印象に残った展示としてあげられている。件数としてはのべ14件であるが、これらについては比較的多くのコメントが書かれているものもあった。今回のアンケートの傾向の変化のひとつに企画展のために来館された方もある程度含まれているようであり、充実した常設展はもちろんであるが、このような企画展も重要であると感じた。

アンケートにご協力をお願いします

① 今日は何をご覧になる予定で科学館に来られましたか？

1. 「プラネタリウム」を見るため
2. 「プラネタリウム」と「展示場」を見るため
3. 「展示場」を見るため
4. 特に決めずに来た
5. 学校からの「校外学習」や「遠足」など

② 実際に今日は何をご覧になりましたか？

1. 「プラネタリウム」のみ
2. 「プラネタリウム」と「展示場」
3. 「展示場」のみ

↓
展示場をご覧
になっていない方は
⑤へ

展示場をご覧になった方にお聞きます

③ 展示場をご覧になっていかがでしたか？

1. とても満足
2. 満足した
3. どちらでもない
4. 不満である
5. とても不満

④ 特に印象に残った展示があれば、どのような展示でしたか？(複数可)

()

⑤ また大阪市立科学館に来られることがあれば、展示場はご覧になりますか？

1. 展示場を見たい
2. 展示場を見ようとは思わない
3. 内容が変わっていたら見たいが、同じなら見ようと思わない
4. プラネタリウムの待ち時間による
5. わからない

⑥ 年齢（または学年）

1. 小学校（ ）年生
2. 中学校（ ）年生
3. 10歳台後半
4. 20歳台
5. 30歳台
6. 40歳台
7. 50歳台
8. 60歳以上

ご協力ありがとうございました

図11. アンケート内容